

令和6年度 住民参加型たすけあい活動部会 コーディネーター学習会 開催要綱

1 目的

人口減少社会、地域におけるつながりの希薄化等を背景として、既存の制度だけでは解決できない課題が増えているなか、地域で住民が主体的に地域づくりに関わり、地域共生社会づくりをすすめていくことが求められています。住民参加型たすけあい活動団体は、これまでも制度では対応できないニーズに住民と共に取り組んできており、その意義が今、改めて見直されている状況といえます。

本学習会は、住民参加型たすけあい活動団体のコーディネーターに求められる知識や技術を体系的に身に付けるため、住民参加型たすけあい活動部会の学習会体系に基づき実施します。

2 対象

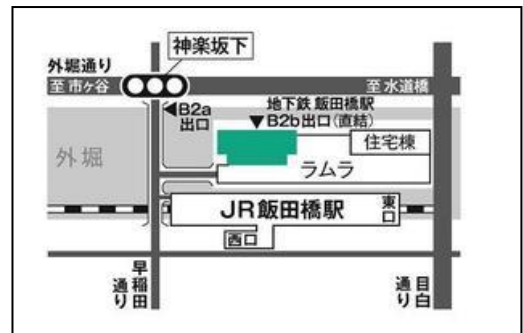
- ① 住民参加型たすけあい活動部会会員団体コーディネーター、団体代表者が認める者等
- ② 住民参加型たすけあい活動部会会員以外の団体のコーディネーター

3 定員 各回とも40名程度

4 方法(会場)

科目1 飯田橋セントラルプラザ 12階会議室
〒162-8953
新宿区神楽河岸1-1

JR総武線飯田橋駅(西口)より徒歩3分
地下鉄東西線・有楽町線・南北線・大江戸線
飯田橋駅(B2b出口)直結



科目2 飯田橋レインボービル 1階A会議室
〒162-0826
東京都新宿区市谷船河原町1-1

JR飯田橋駅西口より徒歩6分
地下鉄東西線・有楽町線・南北線・大江戸線
飯田橋駅(B3出口)より徒歩9分



科目5 東京都左官工業協同組合 貸会議室

〒162-0824

新宿区揚場町1-21 飯田橋升本ビル8階

JR中央線飯田橋駅（東口・西口）より徒歩2分

地下鉄有楽町線、南北線、東西線、大江戸線 飯田橋駅

B1・B4aより徒歩2分



5 学習会の体系

2年間で全科目を履修する体系となっています。1年目に科目1と科目2、2年目に科目3と科目4を隔年で開講し、科目5の時事研修は必要に応じて毎年開講の有無を決定します。

	科目	内 容	日 程
R 6	科目1	住民参加の理念とコーディネーターに求められる役割・視点	9月4日(水)
	科目2	アセスメントやモニタリングの重要性とケース記録のとり方	10月11日(金)
	科目5	時事研修 心に寄り添う話の聴き方～傾聴力を身に付けよう～	11月26日(火)

〔参考〕R5年度に実施済みの科目

	科目	内 容	日 程
R 5	科目3	対人援助技術の基本と実際	8月30日(火)
	科目4	ケーススタディとケース会議	9月29日(木)
	科目5	時事研修 クレームやハラスメントに対する心のケアについて～アサーショントレーニングから学ぶ～	10月31日(月)

6 令和6年度実施科目の内容及び日程

科目1 令和6年9月4日(水) 13:30～17:00

住民参加の理念とコーディネーターに求められる役割・視点

- 講師／太田貞司氏（長野大学 社会福祉学部 教授）
- 介護支援員との違いや地域の社会資源との連携の重要性等、住民参加型在宅福祉サービス団体のコーディネーターの位置づけと役割・機能の基本について学びます。また、市民の視点で地域課題を捉え、変えていく視点や活動の方法等、住民参加の意義と特性について学びます。

科目2 令和6年10月11日(金) 13:30～16:30

アセスメントやモニタリングの重要性とケース記録のとり方

- 講師／矢野明宏氏（東京通信大学 人間福祉学部人間福祉学科 准教授）
- 利用者の生活全体を捉えたアセスメントやニーズ把握の方法、サービス提供後の利用者の状況の変化への対応の必要性やその方法等について、また、プライバシーの保護をはじめとする個人の情報の取扱いの基本的なルールと、目的に添った記録のとり方やその活用方法について学びます。

科目5 令和6年11月26日(火) 13:30～16:30

【時事研修】心に寄り添う話の聴き方～傾聴力を身に付けよう～

- 講師／檜谷照子氏（保健師）
- 利用会員や協力会員の気持ちを深く理解し、気持ち汲み取り、共感する聴き方について学びます。（傾聴の基本について、言葉にされていないニーズをどう汲み取るか、トラブルが起こった際の傾聴のコツ 等）

7 参加費

科目名	時間	部会会員	部会会員以外
科目1	半日	2,000円(税込)	3,500円(税込)
科目2	半日	2,000円(税込)	3,500円(税込)
科目5	半日	2,000円(税込)	3,500円(税込)

8 申込方法

- ① 別添「コーディネーター学習会参加申込書」に必要事項をご記入の上、**8月8日(木)までに下記宛にメールまたはFAXでお申込ください。**
- ② 参加決定通知はお送りしませんが、定員を超えての申込みがあった場合のみ、8月9日(金)までにご連絡いたします。
- ③ 令和5年10月よりインボイス制度対応のため、参加費の支払いについては請求書をメールにて送付させていただきます。参加申込み終了後、**8月19日(月)ごろまでに参加申込みフォームに記載いただいた「とりまとめご担当者メールアドレス」宛てにお送りいたしますので、請求書の内容にそってお振込みをお願いいたします。**なお、請求書発行後のキャンセルは原則受け付けませんので、ご了承ください。

9 事前アンケートの提出について

別添の事前アンケートを、8月8日(木)までにメールまたはFAXにてご提出ください。

10 留意事項 ※必ずお読み下さい。

- ① 本研修は2年間で全科目を開講するものです。コーディネーターに求められる役割や知識について学ぶためには、全科目を受講されることが望まれます。ただし、団体のご判断により、科目を選択して受講することも可能です。
- ② 「科目5 時事研修」は、必要に応じて、時機に応じたテーマで開講し、開講年度によって内容は異なります。
- ③ 住民参加型たすけあい活動部会会員以外の団体の方でも受講可能です。ただし、定員を超える申込みがあった場合は、会員の方を優先します。
- ④ 本研修への参加申込後に受講を取りやめる場合には、下記申込先まで必ずご連絡くださいますようお願いいたします。

11 申込み・問合せ先

東京都社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉担当（恵比須・佐藤・西山）

〒162-8953 新宿区神楽河岸1-1

Tel 03-3268-7186 Fax 03-3268-7222

E-mail ebisu@tcsw.tvac.or.jp